GA88-0233-02

InfoPrint 5400モデルF10
設置と操作の手引き

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波抑制対策の記述

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2 適合品

第3版　2009年10月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

はじめに

本書は、InfoPrint 5400 モデルF10の設置手順および操作方法について説明します。本書は、InfoPrin 5400 モデルF10（以降、InfoPrint 5400 モデルF10または印刷装置と呼びます）を設置する導入担当者および操作員の方々を対象にしています。

本書は次のように構成されています。

- **第1章,** 『設置手順』では、InfoPrint 5400 モデルF10の設置手順およびホスト・システムとの接続方法などを説明しています。
- **第2章,** 『操作手順』では、InfoPrint 5400 モデルF10の各部の名称と機能、注意事項、および基本的な操作方法を説明しています。
- **第3章,** 『故障回復手順』では、InfoPrint 5400モデルF10に問題が発生した場合の対処方法を説明しています。
- **第4章,** 『**InfoPrint 5400 モデルF10の概要と機能**』では、InfoPrint 5400モデルF10の概要、基本仕様、ホスト・システムとの接続構成、および InfoPrint 5400モデルF10を IBM **System i** (AS/400 ®) またはパーソナル・コンピューター(以後、PCと呼びます)に接続した場合の基本機能などを説明しています。
- **第5章,** 『設置計画と導入準備』では、InfoPrint 5400モデルF10を導入する際に必要な準備、機械仕様、電源条件、ケーブル、および環境条件などを説明しています。

また、第1章から第5章までの補足情報として、次の付録を用意しています。

- 付録**A,** 『印刷用紙の規格』
- 付録**B,** 『印刷制御文字（ホスト・システム接続用）』
- 付録**C,** 『制御コード（パラレル・ポート接続用）』
- 付録**D,** 『**ESC/P**制御コードと**ESC/P**モード』
- 付録**E,** 『**IBM** 日本語文字セット』
- 付録**F,** 『ユーザー定義文字のロード **(Telnet5250**接続**)**』
- 付録**G,** 『 **IBM System i (AS/400)** と**Telnet5250**接続時のシステム構成例』

関連マニュアル

InfoPrint 5400モデルF10をIBM System i (AS/400)と接続してご使用になる場合は、次のマニュアルを必要に応じて参照してください。

- 「IBM漢字システム文字セット一覧表」N:GC18-0611
- 「IBM AS/400ユーティリティー: 印刷装置機能制御ユーティリティー使用者の手引き」 N:SH18-2409
- 「IBM AS/400ユーティリティー: 多機能漢字印刷ユーティリティー使用者の手引きと参照 バージョン3」SH88-5019
- 「ADTS/400 文字作成ユーティリティー (CGU)」SC88-5196
- 「AS/400e TCP/IP 構成および解説書 V4」SD88-5013
- 「AS/400 印刷装置プログラミング V3」SC88-5601

InfoPrint 5400モデルF10をPCと接続してご使用になる場合は、次のマニュアルを必要に応じて参照してください。

- 接続するIBMのシステム・ユニットに付属する取扱説明書（「リファレンス・マニュアル」など）
- IBMシステム・ユニットに導入されているオペレーティング・システムの取扱説明書

特記事項

本書において、日本では発表されていない製品（機械およびプログラム）、プログラミング、またはサービスについて言及している場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような製品、プログラミング、またはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。

本書で、ライセンス・プログラムまたは他の製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品、またはサービスを使用することができます。ただし、明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

弊社および他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。

商標

Ricoh、Ricoh ロゴは、株式会社リコーの日本およびその他の国における登録商標。当社は同社から使用許諾を受けて使用しています。

InfoPrint Solutions Company は、InfoPrint Solutions Company, LLC の米国およびその他の国における商標。InfoPrint は、株式会社リコーの米国およびその他の国における登録商標。当社は同社から使用許諾を受けて使用しています。

AS/400、IBM e (ロゴ) Server、IBM、IBMロゴ、iSeries、OS/2、RS/6000、S/390、System i, System p, System z, およびzSeriesは、IBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

"Microsoft" "Windows"および"Windows NT"は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

安全に正しくお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための安全表示について記述されています。本書をお読みになり、注意事項を必ずお守りください。お読みになったあとは保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本書および本製品への安全表示については、製品を正しくご使用いただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。その表示の意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険／注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に、黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、「危険」または「注意」ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。
本書に記述されている以外に、「危険」または「注意」ラベルによる表示がある場合は（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

⚠危険

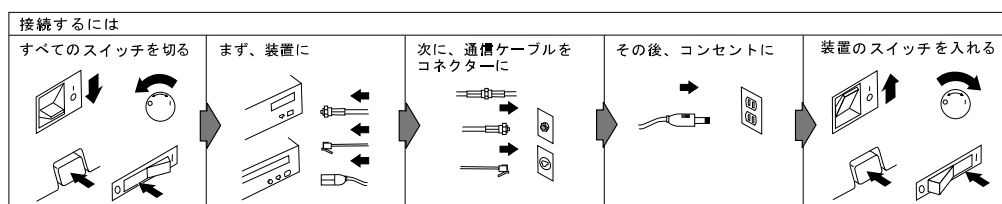
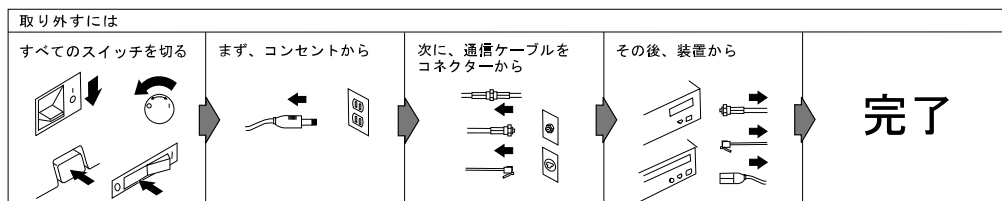
- 本製品のカバーは、本書で指定されたカバー以外は開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- 本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本製品は、付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、異常に発熱している、煙が出ている、異常な音がする、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから必ず抜いて、販売店またはサービス・センターにご連絡ください。

- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを

  切り、電源プラグを電源コンセントから必ず抜いて、販売店またはサービス・センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。

⚠危険

- 本製品は、安全のために３線電源コードおよび３ピン電源プラグを使用しています。電源プラグは、必ず接地端子付き（３ピン）コンセントに差しこんでください。
- ケーブル類の接続、取り外し方法は下記の指示に従ってください。

  電源コードおよび通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。感電の危険を避けるために、製品または接続装置を設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、下記のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。

雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。

雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- 使用環境については、本書の第５章で記述している『環境条件』を参照してください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- この製品の通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品を移動するときは、思わぬ怪我をしないように注意してください。

  注: 本体は約145 kgあります。１人で動かさないでください。本体を動かすときは、必ず２人以上で行ってください。重すぎるときは、ほかの人の応援を頼んでください。
- 本製品は清潔で乾燥した環境で使用し、必ず平らでしっかりした床上に設置してください。
- ケーブル類の上に重たい物を載せたり、ケーブル類を挟んだりしないでください。
- 連休などで長期間使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

目次